しらべた結果の送り方

※今回の調査は野外のカメを対象にしています。ペットなどで飼育しているカメは対象外です。

● 調査票にカメの様子やしらべた場所を記入しください。

● 「カメ」の写真と「カメをみつけた場所」の雰囲気がわかる写真を撮影してください。

- カメに近寄れない場合でも、カメが小さく写っていれば種類をしらべられる場合がありますので、そういった写真も送ってください。
- 「みんなで楽しくしらべている様子」の写真もあれば送ってください。(写真に写っている人全員からの撮影許可を得たもののみお送りください。)

▲カメの撮影例

● 調査票と写真を、「ウェブ投稿フォーム」、「郵送」又は「メール」で日本自然保護協会に送ってください。

ウェブの投稿フォーム

日本自然保護協会の
「自然しらべ」のサイトから
(http://www.nacsj.or.jp/)
ご投稿ください。

郵送での送付

〒104-0033
東京都中央区新川1-16-10
ミトヨビル2F
日本自然保護協会
自然しらべ係

メールでの送信

shirabe2013@nacsj.or.jp

メール本文に
「調査票」の項目を記入し、
写真を添付して送ってください。
10MB程度まで受信可能です。

【お願い】
- マニュアルに記載している以外のカメも見つけたら送ってください。
- 陸を移動しているカメが車に轢かれてしまうことがあります。かわいそうですが、見つけたらその情報もお寄せください。

【注意事項】

- お子さんは一人で出かけずに、大人といっしょに出かけましょう。
- 熱中症対策や安全のため、帽子・長そで・長ズボンで出かけましょう。十分な飲み水を準備し、観察中は適度に休憩をいれ、紫外線や防虫対策等も忘れずに行いましょう。
- 水辺での調査のため、常に注意報や警報に気をつけ、溺れることがないよう危険を回避しましょう。
- 地域によって放射線量の数値が高い場所もあります。事前に自治体などから情報を集めて判断しましょう。
- かみつくカメもいます。調査中は、むやみにカメに触れないようにしましょう。
- ペットとして飼っているカメは野外に放たず、最後まで責任を持って飼いましょう。

【写真と記録についてのお願い】

送っていただいた写真や記録は、貴重な資料として日本自然保護協会で大切に保管します。また個人情報*を除き、自然しらべに関する広報および自然保護やカメの研究の発展の為に、事前のお断りなく公表し活用させていただく場合があります。ご了承のうえ記録をお送りください。

*個人情報は、自然しらべに関する結果報告やご案内のためと当会からの自然保護の情報提供にのみ利用します。ご本人の承諾なしに、第三者に提供することはありません。

「自然しらべクラブ」のエントリー募集中!

自然しらべは、毎年テーマを変えて、親子やお孫さんなどのご家族やお仲間同士で身近な自然を見つめる機会を提供しています。みんなで一緒に参加して応援してください。
今年から、多くの特典を用意して毎年参加してくださる方を「自然しらべクラブ」メンバーとして登録して活動を盛り上げていきます。
日本自然保護協会の会員の方なら、どなたでも登録できます。
調査票の裏面の「回答欄」にチェックしてお送りください。

自然しらべクラブにエントリーすると…

- 毎年、自然しらべのマニュアルや結果レポートがお手元に届きます。
- 調査に参加した自然しらべクラブ対象の「特別プレゼント」が抽選で当たります。
- 各地で開催される自然しらべのイベントに優先的に無料で参加できます。
- 希望者には結果の詳細版冊子「成果報告書」がもらえます。

この機会に日本自然保護協会に入会してくださった方には、カメをデザインした記念バッジ(限定200個)がもらえます。

既に会員の方でご希望の方には500円(実費送料込み・後日振込)でお送りします。

まだ日本自然保護協会会員となっていない方には入会申込書をお送りします。(会費:普通会員5,000円/年、ユース会員(22歳未満)3,000円/年、ファミリー会員8,000円/年)

日本自然保護協会
〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F
TEL.03-3553-4105 FAX.03-3553-0139

●主催: 公益財団法人日本自然保護協会 ●共催: 読売新聞東京本社 ●協賛: サニクリーン、JR西日本、カロラータ、ホシザキチャリティクラブ ●誌面協賛: 『日経サイエンス』日経サイエンス社、『一個人』KKベストセラーズ、『ecomom』日経BP社、『旅の手帖』『散歩の達人』交通新聞社 ●協力: モンベル、『ガルヴィ』実業之日本社、日清製粉グループ本社、ニコン、こどもエコクラブ、『このは』文一総合出版、学研グループ、日本カメ自然誌研究会、E-ne!〜good for you〜(FM横浜)、NEC presents THE FLINTSTONE(bayfm) ●活動助成: 東京ガス環境おうえん基金 ●学術協力: 矢部隆(愛知学泉大学教授/なごや生物多様性センターセンター長/日本カメ自然誌研究会代表) ●写真提供: 奥山保広、天白牧夫、矢部隆 ●イラスト: 浅野文彦 *順不同

●自然しらべをどちらで知りましたか。
新聞・雑誌・インターネット・NACS-J会報
その他(　　)

●自然しらべクラブにエントリーしますか。　はい　いいえ
※自然しらべクラブについては、上記の募集記事をご参照ください。

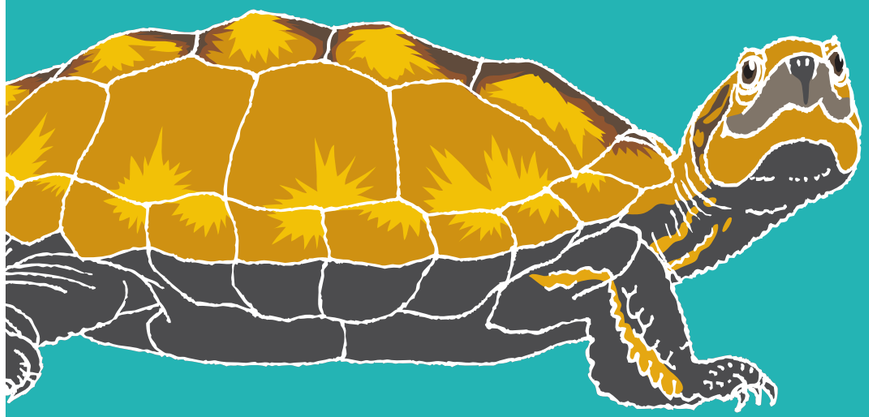
●NACS-Jの会員ですか。　はい　いいえ

いいえの方のみ
●日本自然保護協会に入会しますか　はい　いいえ

●記念バッジを希望しますか　はい　いいえ

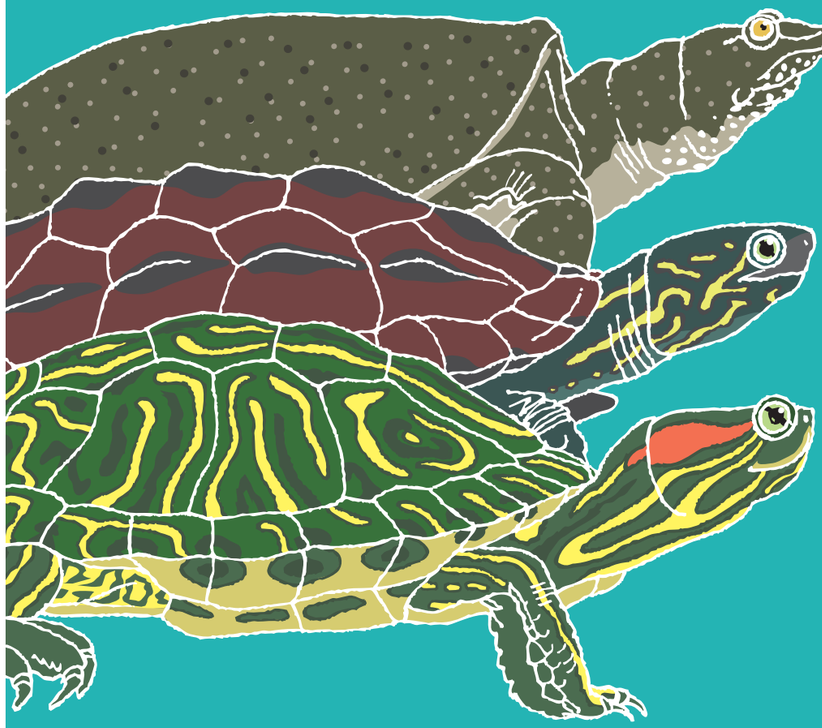
●参加しての感想

自然しらべ



日本のカメさがし!

身近な生きものから見えてくる生物多様性



日本のカメがピンチです。カメラとマニュアル片手に、あなたの町でカメを見つけてみませんか。
全国からの情報が集まれば、カメを通した「日本の自然の定期健康診断」になります。

実施期間
2013年 5月 1日 〜 10月 31日

主催　公益財団法人 日本自然保護協会　　共催　読売新聞東京本社　　誌面協賛　日経サイエンス　一個人　ecomom

協賛　Sanikleen　JR西日本　COLORATA　ホシザキチャリティクラブ　散歩の達人　旅の手帖

協力　mont-bell　こどもエコクラブ　Nikon　日清製粉グループ　このは　学研グループ　日本カメ自然誌研究会
E-ne!〜good for you〜(FMヨコハマ)　NEC presents THE FLINTSTONE (bayfm)

●「ニッポンのカメのいる風景」写真コンテスト

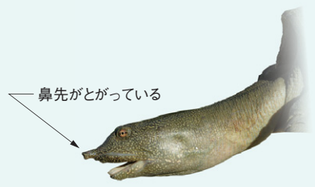
調査期間中に撮影された写真で10月31日までにお寄せいただいたすべての報告(カメの写真・楽しくしらべている様子の写真等)の中から、優れたものを表彰します。賞品としてカメラをプレゼント。詳しくはホームページをご覧ください。

カメをしらべてくださった方の中から、抽選で素敵なプレゼントも!

「自然しらべ2013」は、東京ガス環境おうえん基金の助成を受けて実施しています。

これがカメを見分けるポイント!

日本には、ニホンイシガメをはじめとする淡水性のカメがくらしています。近年、外来のカメが増えている一方、
在来のカメが全国的に数を減らしています。あなたの地域ではどんなカメと出会えるでしょうか。

	ニホンイシガメ	クサガメ	ニホンスッポン	ミシシッピアカミミガメ
	日本固有種	在来種	在来種	外来種
見た目	甲らの尻側の縁がギザギザになっている。	甲らに3本の盛り上がったすじがある。	鼻先がとがっていて、甲らがやわらかい。	首や足に黄色い縞模様がある。
自然分布	本州、四国、九州とその属島に固有。	本州、四国、九州とその属島。 中国東部、朝鮮半島、台湾。	本州、四国、九州とその属島。 中国東部、朝鮮半島、台湾。	北アメリカ原産。 アメリカ合衆国のミシシッピ川の中～下流域。
大きさ（甲長）	オスは12cm、メスは20cmぐらいまで成長する。	オスは20cm、メスは25cmぐらいまで成長する。	オス・メスともに30cmぐらいまで成長する。 35cmを超え、7kgに達するものもいます。	オスは20cm、メスは28cmぐらいまで成長する。
	背	背	背	背
	黄土色 甲羅のふちがぎざぎざ	3本の盛り上がるすじがある	甲らの表面とふちがやわらかい	
	腹	腹	腹	腹
	黒い	白い線		
				
		黄色い模様	黒化したオス	鼻先がとがっている
				赤い模様がある
				赤い模様がない 黒化したオス

※最近の研究では、江戸時代に日本にやってきた外来種であるという説もある。

調査期間には、求愛中のカメ（春と秋）や、川の土手や畑などで産卵中のカメ（6～7月）を観察できる場合もあります。

ホクベイカミツキガメ 外来種

北アメリカ原産。50cmほどになる。

ワニガメ 外来種

北アメリカ原産。
80cmのものも見つかっている。

危険 かまれると危険なので、近寄らないようにしましょう。

●北海道の皆さまへ

北海道には自然分布のカメはいませんが、持ち込まれたクサガメやミシシッピアカミミガメが定着しています。ぜひ、ご参加ください。

●琉球列島にくらすカメについて

琉球列島にくらしている、リュウキュウヤマガメ、ヤエヤマセマルハコガメ、ヤエヤマイシガメは、別紙「琉球列島版マニュアル」に記載しています。自然しらべのウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

しらべた成果は「結果レポート」にまとめて参加者全員にお送りします。（2014年1～3月頃を予定）

こんな場所を探してみよう

カメは水辺を利用してくらしています。こんな場所を探すと、カメと出会える確率が高まります。

川原の土手や田んぼのあぜ

神社・公園の池や沼の浮島

川や池の水の中

カメを見つける観察のコツ!

●甲羅干ししているカメを探そう

変温動物のカメは日光浴をして体温を温め、活動します。日の当たる池の浮島や倒木、身を隠せる草地の水際などがチェックポイント。

●そぉっと、じっくり

野生のカメは人の声や歩く震動に敏感なので、まずは遠くから双眼鏡や望遠レンズつきカメラなどで探してから近づきましょう。

●ゆっくり、のんびり

ジャッポン!とカメが水中に逃げても、しばらくすると呼吸のために水面に顔を出し、泳ぐ様子が観察できるかも･･･。

調　査　票

見つけた種類や場所ごとに、調査票を1枚使ってください。コピー可

見つけたカメの種類名

カメは何をしていましたか
ひなたぼっこ・泳いでいた・その他（　　）

見つけた数
匹

見つけた日時
月　日 だいたい　時頃

見つけた場所（都道府県・市町村・字名・池川湖等の名前）
都道府県　市町村　字　池川湖

見つけた場所の環境
沼池・湖・川・湿地・水田
その他（　　）

一緒に調べた人数
人

個人情報　※成果報告書にお名前を掲載させていただきます。それ以外の個人情報は、外部に公開されることは一切ありません。

●送ってくださったお写真の公開の可否　（　可　・　不可　）

お名前（フリガナ）

住所　〒　　－

TEL　　e-mail